

博士前期課程 人間科学専攻

—学位授与・教育課程編成・入学者受け入れの方針—

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【学位の前提となる教育理念】

人間科学専攻は、人間の諸行動や諸活動について高度な教育と研究を行い、理論と実践の両面から専門性を深め、研究を通して社会に貢献する人材を育成することを目的としています。本専攻では、教育学・人間学コース、心理学コースの2コースが連携して、哲学・思想、教育学、心理学、音楽、身体文化学等の研究を通して専門性を深め、教育や支援の現場における実践や応用の視座も有しながら、人間の存在と形成、行動について広い視野から深く総合的に学びます。

【身につけるべき「資質・能力」】

- ・社会や人間のあり方そのものを自覚的に問い直すための課題発見力と高度な分析力
- ・新しい社会と文化を構想し実現する創造的で実践的な行動力
- ・他者と協働して問題解決にあたるためのリーダーシップ

【学位授与の形式的要件】

上記の資質・能力を身につけ、所定の期間在学して所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで修士論文の審査に合格した学生に修士（文学、学術のいずれか）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【基礎的なカリキュラム構造】

学生は履修系列として、高度な専門的能力を養成する専修系、広い視野を備えた多様なタイプの優秀な人材を育成する複合系のどちらかを選択し、以下の科目群から履修します。教養科目群では大学院生に必要な教養を培います。専門群では特論、演習、実習を通して高度な専門教育を行います。実践群及びキャリア形成群では高度な職業能力を開発するための実践的教育を行います。論文等作成群では修士論文の執筆に向けて指導を行います。

【教育の内容と方法】

本専攻では、資料の分析、フィールドワーク、調査・実験等を遂行することを通して、主体的行動力、課題発見力、分析力を身につけることを重視します。また学際的な視野からものごとを俯瞰する能力、実社会で必要とされる企画・調整力及び他者と協働する力を培うための大学院教養科目を必修として

います。さらに文学部からの6年一貫教育プログラムでは、学部から修士論文作成まで継続的に研究を行い質の高い修士論文を目指すとともに、留学など学外での学修を自ら柔軟に設計することが可能です。

【学修成果の評価の仕方】

学修成果の評価は、それぞれの開講科目のシラバスに示された成績評価の方法（定期試験、レポート、授業での発表等）に従い、公正かつ厳格に行います。修士論文は、提出された論文と口頭試問により評価します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【入学者選抜の前提となる教育理念】

人間科学専攻は、哲学・思想、教育学、心理学、音楽、身体文化学等の研究を通して、人間と人間の行動について広い視野から深く学ぶことを目的としています。教育学・人間学コースでは人間形成と人間存在に関わる幅広い事象について、心理学コースでは人間の心と行動の諸問題について、理論と実践の両方を視野に入れて高度な教育・研究を行います。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- 専門分野に関する基礎的知識
- 資料や文献を読み解くための語学力
- 資料の分析、実験や観察、フィールド調査などの研究方法に関する知識と能力
- 調査結果や文献などを適切に分析し、論理的に説明する能力
- 学部での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- 社会生活に根ざした真摯な問題意識
- 大学院における研究を社会に還元する意欲

【入学者選抜の方法】

コースごとに、一般入試、社会人特別入試、留学生特別入試を実施します。大学院で学ぶために必要な専門知識や研究を計画し実施する能力を測るために、筆記試験と口述試験を行って選抜します。